

## 産業廃棄物処理計画書

令和 7 年 5 月 1 日

新潟県知事 殿

提出者

住所 新潟県東蒲原郡阿賀町九島1270番地

氏名 株式会社 巴山組  
代表取締役社長 猪俣 一成

(法人にあつては、名称及び代表者の氏名)

電話番号 0254-92-7500

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第9項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。

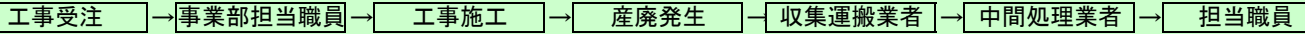
事業場の名称	株式会社 巴山組
事業場の所在地	新潟県東蒲原郡阿賀町九島1270番地
計画期間	令和 7 年 4 月 1 日 から 令和 8 年 3 月 31 日 まで
当該事業場において現に行っている事業に関する事項	
① 事業の種類	06 総合建設業
② 事業の規模	14億6,690万円
③ 従業員数	60人
④ 産業廃棄物の一連の処理の工程	<ul style="list-style-type: none"><li>・廃プラスチック 中間処理業者 → 破碎後再資源化または、最終処分場へ 中間処理業者 → 木くずに混ぜて処理、減容後管理型最終埋立処分</li><li>・ゴムくず(廃タイヤ) 中間処理業者 → 破碎後燃料として再生利用</li><li>・木くず 中間処理業者 → 破碎後再資源化 中間処理業者 → 焼却減容後最終処分場へ</li><li>・建設汚泥 中間処理業者 → 脱水後造粒固化または、攪拌混合処理その後再資源化</li><li>・金属くず 中間処理業者 → 破碎後再資源化 中間処理業者 → 破碎後安定型最終埋立処分場へ</li><li>・がれき類 中間処理業者 → 再生砕石として再資源化 中間処理業者 → 切断圧縮後再資源化</li><li>・混合廃棄物 中間処理業者 → 分別後再資源化または最終処分場(埋立処分)へ</li></ul>

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項

(管理体制図)

当社において工事受注後、工事担当職員を決定しその作業所の責任者となり管理運営を行う。

また、受注後に再生資源利用計画書、工事完了時に再生資源利用計画実施書を起票し発注元へ提出する。



- ・作業
- ・再生資源利用計画書  
〈記入内容〉  
アスファルト廃材量・搬出先  
コンクリート廃材量・搬出先  
土砂(残土)量・搬出先
- ・再生材料の利用計画
- ・建設系廃棄物マニフェスト作成

・マニフェスト発行

・マニフェスト  
受領確認  
保管

産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

【前年度 ( 6 年度 ) 実績】									
① 現状	産業廃棄物の種類	廃プラ	木くず	金属くず	がれき類	混合	ゴムくず	ガラス	汚泥
	排出量	17.28 t	267.89 t	8.98 t	1,688.06 t	9.08 t	1.14 t	1.89 t	0.08 t
	産業廃棄物の種類								
	排出量	t	t	t	t	t	t	t	t
(これまでに実施した取組)									
社内での電子マニフェスト移行推進									
【目標】									
② 計画	産業廃棄物の種類	廃プラ	木くず	金属くず	がれき類	混合	ゴムくず	ガラス	汚泥
	排出量	15.00 t	264.00 t	8.00 t	1,687.00 t	8.00 t	1.00 t	1.00 t	0.00 t
	産業廃棄物の種類								
	排出量	t	t	t	t	t	t	t	t
(今後実施する予定の計画)									
特になし									

産業廃棄物の分別に関する事項

① 現状	(分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組)
	廃プラスチック類、木くず、金属くず、がれき類、混合廃棄物、ゴムくず、ガラス 指導に基づき処理委託を実施している
② 計画	(今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組)
	現状と同じ

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項

【前年度（6年度）実績】									
① 現状	産業廃棄物の種類	廃プラ	木くず	金属くず	がれき類	混合	ゴムくず	ガラス	汚泥
	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量								
	産業廃棄物の種類								
	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量								
(これまでに実施した取組)									
【目標】									
② 計画	産業廃棄物の種類	廃プラ	木くず	金属くず	がれき類	混合	ゴムくず	ガラス	汚泥
	自ら再生利用を行う産業廃棄物の量								
	産業廃棄物の種類								
	自ら再生利用を行う産業廃棄物の量								
(今後実施する予定の計画)									

自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項

【前年度（6年度）実績】									
① 現状	産業廃棄物の種類	廃プラ	木くず	金属くず	がれき類	混合	ゴムくず	ガラス	汚泥
	自ら熱回収を行った産業廃棄物の量								
	自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量								
	産業廃棄物の種類								
	自ら熱回収を行った産業廃棄物の量								
	自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量								
(これまでに実施した取組)									
【目標】									
② 計画	産業廃棄物の種類	廃プラ	木くず	金属くず	がれき類	混合	ゴムくず	ガラス	汚泥
	自ら熱回収を行う産業廃棄物の量								
	自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量								
	産業廃棄物の種類								
	自ら熱回収を行う産業廃棄物の量								
	自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量								
(今後実施する予定の計画)									

## 自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項

【前年度（6年度）実績】									
① 現状	産業廃棄物の種類	廃プラ	木くず	金属くず	がれき類	混合	ゴムくず	ガラス	汚泥
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	t	t	t	t	t	t	t	t
	産業廃棄物の種類								
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	t	t	t	t	t	t	t	t
(これまでに実施した取組)									
【目標】									
② 計画	産業廃棄物の種類	廃プラ	木くず	金属くず	がれき類	混合	ゴムくず	ガラス	汚泥
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	t	t	t	t	t	t	t	t
	産業廃棄物の種類								
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	t	t	t	t	t	t	t	t
(今後実施する予定の計画)									

## 産業廃棄物の処理の委託に関する事項

【前年度（6年度）実績】									
① 現状	産業廃棄物の種類	廃プラ	木くず	金属くず	がれき類	混合	ゴムくず	ガラス	汚泥
	全処理委託量	17.28	267.89	8.98	1,688.06	9.08	1.14	1.89	0.08
	優良認定処理業者への処理委託量	1.52	6.17			5.31			
	再生利用業者への処理委託量	15.76	243.79	8.98	1,688.06	3.77	1.14	1.89	0.08
	認定熱回収業者への処理委託料								
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量								
	産業廃棄物の種類								
	全処理委託量	t	t	t	t	t	t	t	t
	優良認定処理業者への処理委託量	t	t	t	t	t	t	t	t
	再生利用業者への処理委託量	t	t	t	t	t	t	t	t
認定熱回収業者への処理委託料	t	t	t	t	t	t	t	t	
認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	t	t	t	t	t	t	t	t	
(これまでに実施した取組)									
社内での電子マニフェストでの処理移行、適切な処理委託									

① 計画	【目標】								
	産業廃棄物の種類	廃プラ	木くず	金属くず	がれき類	混合	ゴムくず	ガラス	汚泥
	全処理委託量	15.00 t	264.00 t	8.00 t	1,687.00 t	8.00 t	1.00 t	1.00 t	
	優良認定処理業者への処理委託量		5.00 t			5.00 t			
	再生利用業者への処理委託量	15.00 t	228.00 t	8.00 t	1,687.00 t	3.00 t	1.00 t	1.00 t	
	認定熱回収業者への処理委託料								
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量								
	産業廃棄物の種類								
	全処理委託量								
	優良認定処理業者への処理委託量								
	再生利用業者への処理委託量								
	認定熱回収業者への処理委託料								
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量								
	(今後実施する予定の取組)								
	現状と同じ								
※事務処理欄									